知的障がい教育部門

中学部通信

NO.2 2.7.6

進路指導の取組

毎年６月は、３年生は現場実習、２年生は現場実習見学、全学年対象の現場実習報告会が行われます。しかし、今年度はすべて中止になりましたので、それに代わる各学年の進路指導の取組、昨年度の現場実習、今年度実施予定だった実習先をご紹介します。また、裏面には、中学部卒業後の進路選択について載せていますので、ご覧ください。

《昨年度の現場実習より》

～実習先（施設）からのアドバイス～

- 嫌なことでも嫌がらずに何でも取り組む姿勢を身に付けること。
- 決められた時間や作業が終わるまで仕事を続けるために、時間や約束を守ることはとても重要。
- 立ち仕事や屋外での仕事を長時間続けられる体力があれば、仕事の選択の幅が広がる。
- 生活介護では、常にマンツーマンで対応できるわけではないので、ある程度一人で活動できることや一人で遊ぶことができるようにしておく。

～3年生からのアドバイス～

- 家でたくさん手伝いをして、体力をつけてください。
- 給食を早く食べ終わるようにしてください。
- 自由な時間に一人で楽しめる活動があったらいいです。
- 挨拶を自分から元気よくできたらいいです。
- 言葉遣いに気を付けてください。
- 集中を持続して作業ができるようにしてください。
- 早寝、早起きの習慣を身に付けてください。

～３年生保護者の感想～

- 実習期間中は、よくがんばっていたと思います。実習を通して、子供の居場所や今後の目標を見つけてほしいと思います。
- 初日は緊張していたようで疲れて帰ってきました。しかし、少しずつ慣れていき、コミュニケーションもとれていったようです。今回の実習に向けて、夏休みを利用して親子で施設の見学に行きました。実際に見ることができてよかったと思います。

◆昨年度の実習先
- 就労継続支援Ａ型：ガイド、ハッピーライフ、azul
- 就労継続支援Ｂ型：シーズ、ゆるり、作業所 大和（やまと）
  くすの木作業所
  レストラン夢の木
- 生活介護：苅田学園

★今年度実習する予定だった実習先
- 就労継続支援Ａ型：ハッピーライフ、ガイド、村のパン屋･ＳＵＮ
- 就労継続支援Ｂ型：ワークランド･こすもす、みらい、森の学校、くすの木作業所、恵光園 栃（とちのき）、作業所 大和（やまと）、ソーシャルサポート tsukinowa
- 就労移行支援：ジョブトレーニング行橋
- 生活介護：あんだんて、アイエット、おやまだ、第二ワークランド･こすもす

１年生の取組

【進路学習で大切にしたいこと】

１、基本的な生活習慣を身に付ける
２、主体的に取り組める活動を増やしていく
３、人との適切な関わり方を身に付ける
４、集団の中での所属感や役割意識をもつ
５、働くことへの意欲や関心を高める

〇毎日１５分間の朝の運動、週２時間の総合的な学習の時間、週６時間の作業学習を行います。また、毎日の学習や活動を通して、働く力（あいさつ、返事、報告、体力、意欲、言葉遣い、持続力、コミュニケーションなど）を身に付けるように取り組んでいます。

〇毎週月曜日の６時間目は進路学習を行います。３年生での現場実習や２年生での施設見学、卒業後の進路についてなど学習していきます。

２年生の取組

【現場実習へのイメージ作り】

１、昨年度の現場実習報告会の振り返り
　昨年度の先輩方がどのような実習を行っていたかを、現場実習報告会の映像をもとに振り返ります。

２、近隣の福祉施設調べ
　学区内にどのような福祉施設があるか、また、施設の所在地や作業内容を中心に調べます。

３、現場実習までの流れの確認
　実習を行うまでにどのような準備をしていくかを確認します。施設見学や打ち合わせなどについて学習します。

４、実習を行うために大切なこと
　挨拶や持続力など、実習を行うために必要となる力について学習します。

３年生の取組

【進路学習】

「卒業後の生活を考えてみよう」

〇将来の「自分像」について考える。
〇仕事をする、働くという意味を知り、就労に向けて必要な力の習得を目指す。

「卒業までの予定を知ろう」

〇入学者選考試験に向けてのスケジュールを確認する。
〇グループに分かれて、義務教育終了後の進路選択について考える。
〇「総合的な学習の時間」の学習内容。
- １学期：挨拶や掃除の仕方、衣服の整理整頓の練習
- ２学期：面接練習など入学者選考試験に向けた準備
  （行事予定を考慮して、体験的な進路学習を予定）
- ３学期：本校高等部作業学習見学

中学部卒業後の進路選択について

中学部卒業で義務教育は終わります。その後のライフスタイルは**自分で選択**することになります。卒業後の進路は以下の４つです。
①就職(一般企業・福祉的就労)　②進学　③福祉施設(入所・通所)　④在宅

①就職　障がいのある人の就労を支援する機関はありますが、基本的に１８歳以上の就労希望者を対象にしています。高等部で就職に必要な力を付けた上で考えることが望ましいです。

③福祉施設の利用　同じ目的をもった施設でも、各施設は独自の経営方針、生活スケジュール、作業・訓練内容、送迎方法、年間行事などを設定しています。見学などで事前に施設や内容を確認したり、短期の体験入所やショートステイを経験したりしてください。なお、**施設見学については、担任にご相談ください。**

②進学　中学部から公立高等学校の受検は可能です。私立高等学校については、それぞれの学校の受検の規定について確認する必要があります。特別支援学校高等部は、入学者選考検査を受検して合格した場合に入学できます。同じ特別支援学校の中学部から高等部に入学する場合も同様です。

一般の高等学校には、特別支援学級の設置はないので、大きな集団での一斉学習で一定の学習成果を上げないと進級できない可能性があります。通級による指導の拠点校が県内には、４校（北九州地区はひびき高校）あり、在籍高校の放課後(１６時～)に各自で設置されている学校へ通学して指導を受けます。また、「本県において通級による指導の対象となるのは、主にＬＤ、ＡＤＨＤがあり、小学校又は中学校等において通級による指導を受けていた生徒」（『特別支援教育推進ガイド』福岡県教育委員会（平成３０年３月））ということになっています。その他、私立の高等学校、通信制の高等学校、サポート校などもあります。子どもの成長に関して進学先の学校に何を求めるのかをよく考えるためにも情報収集が必要です。

主に進学先としては特別支援学校の高等部が考えられますが、学校によってコースが分かれていたり、対象としている障がいの種類や程度が異なっていたりしますので、実際に学校を見学してから最適な学校を選択しましょう。本校高等部以外の、本校知的中学部卒業生が進学した実績のある学校として、北九州高等学園と直方特別支援学校高等部の情報を掲載します。

※ 学校見学や相談については、学校を通すことになりますので、希望するご家庭は担任にご相談下さい。

北九州高等学園

〒809-0026 福岡県中間市大辻町１８番１号　　TEL093-246-3000　FAX093-246-3010

職業専門コース　社会生活能力の拡充を図るとともに、専門的な職業に関する指導をとおして、一般事業所等への就労を可能とする職業的な技能や態度を身に付けさせ、生徒の職業生活への適応能力の育成を目指す。

※職業専門コースの入学者選考検査：１次検査１１月(面接等)　２次検査１月(学科試験(国･社･数･理)等)

作業学習コース　生活習慣や社会生活能力の確立を図るとともに、作業学習をとおして可能な限り一般就労、福祉的就労時に必要な職業的な基礎技能や実践的な態度を身に付けさせ、身近な社会生活への適応能力の育成を目指す。

生活学習コース　身のまわりの事柄や習慣についての理解と身辺処理能力の確立を図るとともに、簡易な作業学習を通して基礎的機能や態度を習得させ、身近な社会生活への適応能力の向上を目指す。

※作業学習コース・生活学習コースの入学者選考検査：２月

（学校見学設定日）**※下記の火曜日　受付 12:30～　説明・見学会 13:00～（14:30 終了予定）**
７月２１日･２８日　　８月２５日　　９月８日･１５日　　１０月１３日･２７日
１２月８日･１５日･２２日　　１月１９日･２６日
※９月８日までは、３年生のみ　※９月までは、３年生を優先

※知的障がい教育高等部のみの学校です。寄宿舎はありますが、入舎できないこともあります。
ただし、職業専門コースの生徒は寄宿舎入所が原則です。
※本校から、一昨年度、１名が進学しました。（入舎しています）

直方特別支援学校（高等部）

〒822-0007 福岡県直方市下境４１０－２
TEL0949-24-5571　FAX0949-24-5508
（学校見学設定日）受　　付　　９：４５～
説明見学　１０：００～１２：００

※今年度の見学は、中学部３年生を対象とします。

9月15日（火）	9月17日（木）	9月24日（木）
10月15日（木）	10月20日（火）	10月22日（木）
10月27日（火）	10月29日（木）	11月19日（木）
11月24日（火）	11月26日（木）	12月10日（木）
12月15日（火）	12月17日（木）	1月28日（木）
2月 2日（火）	2月 4日（木）	2月 9日（火）

※聴覚障がい（幼・小・中）、知的障がい（小・中・高）、肢体不自由（小・中・高）の特別支援学校です。
寄宿舎はありますが、入舎できないこともあります。
※入学者選考検査：２月